

|            |      |                |      |
|------------|------|----------------|------|
| 教科<br>科目名  | 国語   | 単位数(週あたりの授業時数) | 2 単位 |
|            | 文学国語 | 履修学年(類型)       | 2 学年 |
| 教科書名(出版社名) |      | 精選論理国語(東京書籍)   |      |

### ●学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

### ●学習計画

| 学期 | 月      | 単元名 | 学習内容  |
|----|--------|-----|---|
| 1  | 4・5月   | 小説1 | 小説に描かれた世界を味わうとともに、登場人物の心情を表現に即して把握し、そこに表された人間の在り方について考えを深める。  |
|    | 6・7月   | 評論1 | 論の展開を踏まえて筆者の主張を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えを深める。                   |
| 2  | 9・10月  | 小説2 | 小説を読み、そこに込められた寓意や描かれた人々の姿から、生きることへの考えを深める。                    |
|    | 11・12月 | 詩歌  | 詩歌の表現の特色を理解して味わう。   |
| 3  | 1・2・3月 | 小説3 | 場面展開や人物の性格・心理の描写を読み取るとともに、人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 |

### ●観点別評価

| 3観点   | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                     |
|-------|--|---|-----------------------------------|
| A     | 実社会に必要な国語の知識が身についており、論理的に相手に伝えられている。           | 言語活動を通して、言葉による見方・考え方を働かせ、的確に理解・判断し効果的に表現している。       | 言葉を通して他者や社会に関わっている。               |
| B     | 実社会に必要な国語の知識を身につけようとし①、論理的に相手に伝えるように使おうとしている②。 | 言語活動を通して、言葉による見方・考え方を働かせ①、的確に理解・判断し効果的に表現しようとしている②。 | 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。            |
| C     | Bを基準とし、①もしくは②どちらかが不十分である。                      | Bを基準とし、①もしくは②どちらかが不十分である。                           | 言葉を通して他者や社会に関わろうとしていない。           |
| 評価方法  | 定期考査<br>発問に対する答え                               | 定期考査<br>発問に対する答え                                    | 定期考査<br>発問に対する答え<br>授業や課題等に取り組む姿勢 |
| 評価の重み | 40%  | 40%   | 20%                               |